

ウィーン・サロン・オーケストラ ニューイヤークンサート2016

Salonorchester Alt Wien New Year Concert 2016

音楽の都ウィーンで抜群の人気を誇る名門オーケストラ 優雅な響きが新年を彩る



©K. Hayashi



©K. Hayashi

音楽芸術監督・コンサートマスター

ウド・ツヴェルファー Udo Zwölfer



©K. Sakayori

ピアノ

久元 祐子 Yuko Hisamoto*

Program

W.A.モーツァルト

ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 KV488*

J.シュトラウスII

ポルカ「狩にて」Op.373

ワルツ「ウィーン気質」Op.354

ワルツ「芸術家の生活」Op.316

ワルツ「美しく青きドナウ」Op.314

スッペ

オペレッタ「軽騎兵」より“序曲”

カールマン

歌劇「伯爵令嬢マリツァ」より

J.シュトラウスI

ラデツキー行進曲Op.228 他

※曲目・曲順が変更される可能性があります、予めご了承下さい。

2016. 1. 6 (水) 19:00開演 (18:15開場)
東京オペラシティ コンサートホール

[京王新線「初台駅」東口 徒歩1分(京王線相互乗り入れ都営新宿線にて新宿から2分)]

全席指定 S: ¥6,000 A: ¥5,000 Sペア: ¥10,000

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット取扱先

チケットぴあ 0570-02-9999 t.pia.jp [Pコード:276-018]

イープラス eplus.jp

ローソンチケット 0570-084-003 l-tike.com [Lコード:39611]

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 t-bunka.jp

後援

オーストリア大使館、日澳文化協会

主催・チケットお申込み・お問合せ

プロアルテ ムジケ PRO ARTE MUSICA E Tel.03-3943-6677

www.proarte.co.jp info@proarte.co.jp

※HPからの入会・お申込みで、対象公演は割引ポイントがたまります。

ウィーン・サロン・オーケストラ ニューイヤークンサート2016

ウィーン・フォルクスオーパーの名手たちを優雅なバレエと歌声が彩る、ニューイヤークンサートの決定版！
壮麗、優美、華麗・・・ウィーン伝統の音楽で晴れやかな新年が幕を開けます！

出演：オーケストラ23名 / バレエダンサー2名 (男女各1名) / オペラ歌手2名 (男女各1名)



©Hayashi Kiyotane

ウィーン・サロン・オーケストラ Salonorchester Alt Wien

1994年ウド・ツヴェルファーのもとウィーン・フォルクスオーパー管弦楽団のメンバーらにより結成された。世界中からウィーンを訪れる人々に本物のウィーン音楽を、本場の雰囲気、一流の音楽家たちによる演奏で提供しようとの狙いのもと設立。レパートリーは、ウィーンを代表する作曲家であるヨーゼフ・ランナー、シュトラウス一家、カレル・コムザーク、カール・ミヒャエル・チーラー、フリッツ・クライスラー、エメリヒ・カールマン、フランツ・レハール、ロベルト・シュトルツなどの、序曲、ワルツ、ポルカやマーチ。またヨハン・シュトラウスの代表的なオペレッタ「こうもり」、「ジプシー男爵」、「ヴェネツィアの一夜」、「ウィーン気質」、レハール「メリー・ウイダー」、カールマン「チャールダーシュの女王」、「伯爵令嬢マリツァ」、カール・ツェラー「小鳥売り」、ミレッカー「乞食学生」、「ガスパローネ」

などからの有名なアリアやデュオなど、非常に幅広い。ウィーン伝統音楽の継承にも力を注ぐ一方で、アルバート・ウィリアム・ケテルビー、ルロイ・アンダーソンなど新しい作曲家の作品も意欲的に取り上げている。主なレパートリーは19世紀初頭の伝統音楽にしっかり根ざしている中で、聴衆が求めるプログラムには柔軟に対応。ミュージカル、映画音楽、ダンス音楽、民族音楽などプログラムは多岐にわたる。ランナーやヨハン・シュトラウスの伝統を継承し、ウド・ツヴェルファーがヴァイオリンと指揮の弾き振りするスタイル。演奏者同士の緊密なコミュニケーションと楽しげな演奏スタイルは、聴衆をも幸せに満たすような抜群の雰囲気、ホールを包み込む。ウィーン楽友協会ホール、ホーフブルク宮殿ホール、国立図書館ホール、ウィーン証券取引所祝祭ホールなど、ウィーン各地でコンサートを開催。1998年以降、ウィーンにおいて年間300回を超えるコンサートを開催するなど、抜群の人気を誇っている。2001年由緒ある「ウィーン・クアサロン」がリニューアル。ウィーン・サロン・オーケストラは、ヨハン&エドゥアルト・シュトラウス、フランツ・レハール、ニコドスタルなどが演奏を行ってきたこの伝統のホールを拠点とし、聴衆、批評家たちから圧倒的な支持を得ている。2001、2002年、2004年、2006年日本ツアーを行い、2004年には、中国、またカリフォルニア・ロング・ビーチでも公演を行い、大好評を博す。



©Hayashi Kiyotane

ウド・ツヴェルファー Udo Zwölfer (音楽芸術監督・コンサートマスター)

ウィーン生まれ。ウィーン国立アカデミー(現ウィーン国立音楽大学)、及びウィーン市立音楽院(現ウィーン・コンセルヴァトリウム私立音楽大学)に学ぶ。在学中より、ウィーンをはじめ、多くの著名な芸術家たちと数多くの演奏活動を行い、フランス、イタリア、チェコ、クロアチア、韓国、台湾、中国、アメリカ、日本等への演奏ツアー等、精力的に活躍している。1980年に、フォルクスオーパー・ウィーン第1コンサートマスターに就任。1994年、フォルクスオーパー・ウィーン所属のオーケストラ奏者で構成された、「ウィーン・サロン・オーケストラ」を設立。1999年には、クアサロン・ウィーン(かつてヨハン・シュトラウス2世が自ら演奏し活躍した、ウィーンに於ける彼の故郷であった歴史的施設)の現支配人であるS.スズニャーラとオーケストラのコラボレーション契約を

交わし、同オーケストラの演奏活動を本格的にスタートさせた。ツヴェルファーは、初代音楽芸術監督に就任、同時にコンサートマスターとしてオーケストラを率い、現在までに、オーストリア国内外にて4000公演以上のコンサートを成功させている。

使用楽器は、1774年のイタリア・ナポリ製、トマソ・エーバレ社のヴァイオリンである。



©酒寄克夫

ゲスト：久元 祐子 Yuko Hisamoto (ピアノ)

東京藝術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て東京藝術大学大学院修士課程を修了。読売日本交響楽団、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、神奈川フィル、ウィーン・サロン・オーケストラ、ラトヴィア国立交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団など、内外のオーケストラや合奏団と多数共演。

2012年、2014年には、イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。2011年ウィーンでのリサイタルではピアノ専門誌の表紙を飾り「バーゼンドルファー・アーティスト」の称号を受ける。

バーゼンドルファー(1829年製)、ブレイエル(1843年製)、エラー(1868年製)などを所蔵し、歴史的楽器の演奏会や録音にも数多く出演。それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。2010年、ショパン生誕200年記念年には、全国各地でブレイエルを使っの演奏会に出演。軽井沢・大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。また音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは、朝日新聞・天声人語にも紹介される。

これまでにCD10作をリリースし「ハイドンとモーツァルト」は毎日新聞CD選、レコード芸術推薦版に選ばれ、「ベートーヴェン」テレーゼ「ワルトシュタイン」はグラモフォン誌上で「どこからどう考えても最高のベートーヴェン演奏」などの評価を得る。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)、「原典版で弾きたいモーツァルトのピアノ・ソナタ」(アルテスパブリッシング)、「モーツァルトとヴァルター・ピアノ」(学研パブリッシング)など。

国立音楽大学准教授、日本ラトヴィア音楽協会理事。

久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>